

知床ガイド協議会  
会長 岡崎 義昭  
西原 重雄

## 知床ロングトレイル・プロジェクトについて

### <概要とこれまでの経緯>

平成 25 年度の第 1 回適正利用・エコツアーリズム検討会議において、「歩く観光」の場所を増やすことを目的として、ウトロから知床峠にかけての森林内に長距離の歩道を新設する計画を知床ガイド協議会が発案者となって提案した。

検討会議では、下記の点に留意をすることを条件に部会の設置が認められ、その後、平成 25 年 9 月 11 日に第 1 回部会を開催した。

### <検討を進めるにあたり必要な視点>

エコツアー検討会議では、指摘された視点は以下の通り。

- ①自転車利用と徒歩利用の共存について、徒歩利用に限定することも含めて検討すること。
- ②ウトロから羅臼までのロングトレイルとして、羅臼側まで区間を延長して検討すること。
- ③トレイルのルートは自然環境の保全に配慮するとともに、できる限り車道から距離を取り自動車の音が聞こえないようにする等、快適な利用にも配慮すること。
- ④既存の法律（自然公園法、森林法）を遵守するとともに、制度等（知床森林生態系保護地域、自然観察教育林、国有林の借地・国有林における利用料の徴収、及びしれとこ 100 m<sup>2</sup>運動地）との整合を取ることを。
- ⑤将来にわたり維持管理が可能な実施体制を検討すること。

### <提案の取り扱いについての意向>

- ・その後、昨年秋に知床ガイド協議会 山本泰弘前会長が死去したため、知床ガイド協議会として本計画を推進できる体制が維持できなくなったため、提案を一旦取り下げさせていただきたい。
- ・将来的に本プロジェクトの推進体制が整った段階で、現実に即した提案を改めて行うという選択肢を残していただきたい。
- ・現時点においては、斜里町や知床財団による 100 m<sup>2</sup>運動地の一般公開も検討されており、運動地内に設定する歩道の運用状況や管理体制等を参考にさせていただきたい。